

【平成28年12月11日（日）開催分】

説明会 開催 結果	開 催 日 時	平成28年12月11日（日）19：00～20：30
	開 催 場 所	会場の名称 海老名市文化会館小ホール 会場の所在地 海老名市上郷476-2
	参 加 人 員	参加人員 19人
	事業者側の主な出席者	厚木市(まちづくり計画部都市計画課、環境農政部環境施設担当) 厚木愛甲環境施設組合【説明者】
	説明会の経過及び概要	19：00 開会 ・代表者挨拶 ・関係者紹介 19：05 環境影響予測評価実施計画書の概要説明 (パワーポイントにより約30分説明) 19：40 質疑応答 (主な質問・要望と回答は下記のとおり) 20：30 閉会

主な質問・要望	回 答
チラシの配布方法を教えてほしい。	実施区域から約3kmの周知範囲で全戸ポスティングを行いました。
新しい施設の方が処理能力が小さいのはなぜか。	近年のごみの減量化によるものと、平成37年の稼働時に必要となる最大処理能力を算出し、結果的に処理能力が小さいものを建設する計画となりました。
土壌調査地点が5地点では少ないのではないか。	土壌汚染は煙突からの排ガスに起因するため、試算して最大濃度となる1.8kmの距離で4方向にある小中学校に調査地点を設定しました。
調査の結果は、現況と新設との比較をして評価するのか。	新設予定地と周辺環境の現況を調査したうえで、新設による影響を予測・評価します。
炉の燃焼温度をもっとあげられないのか。	炉の形式は変わりますが、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、燃焼温度は同じになります。なお、温度を上げすぎると別の有害物質が出ます。
残土が発生しないという根拠は何か。	5.6haの敷地に盛土を行いますが、発生する土はピットの掘削分のみであるため、土としては不足することになります。
調査の様子を見ることはできるのか。	今後、検討してまいります。
地域特性において大気汚染項目の光化学オキシダントが非達成となっているが問題ないのか。	これは文献調査であり、厚木市内の大気汚染常時監視測定局の測定値です。国道246号等の影響が考えられます。
地域特性のところ、実施区域周辺で振動や悪臭の調査は実施されていないとなっているが問題ないのか。	公的な機関が一般地域での調査結果はないということで記載しています。調査は、法的な義務はありません。
大気質の調査地点の選定根拠は何か。	風向を考慮して、代表的な地点に設定しています。事前の検討で1.8km付近が比較的高濃度となると想定されているので、その付近の保全対象に設定しています。

主な質問・要望	回 答
<p>大気質の調査は4季各1週間となっているが、これで大気質の状況を把握できるのか。</p>	<p>1週間測定することで人の活動の変動・周期を含めることができると考えています。また、4季に測定を行うことで、冬季には気温が低くなることから大気汚染物質が下にたまりやすくなることなどの季節別の特徴が把握できることから、精度のある結果を得られると考えています。なお、予測値を算出する際に使用する風向については1年間測定します。</p>
<p>測定して高い数値が出た時にはどうするのか。</p>	<p>異常値が出た場合は原因を確認して、長時間で異常値が計測された場合は、平常時の状態を計測できるように調査期間を延長する等の対応をとります。また、周辺の県や市で測定している結果と比較して測定結果が異常ではないかの確認を行います。</p>
<p>環境影響評価の結果、事業を中止することがあるのか。</p>	<p>予測の結果、影響が甚大となる場合には計画の見直しも検討しなければならないと考えていますが、現センターよりも厳しい自主規制値での運用を計画していますので、大きな影響があるという結果が出ないのではないかと考えています。</p>